

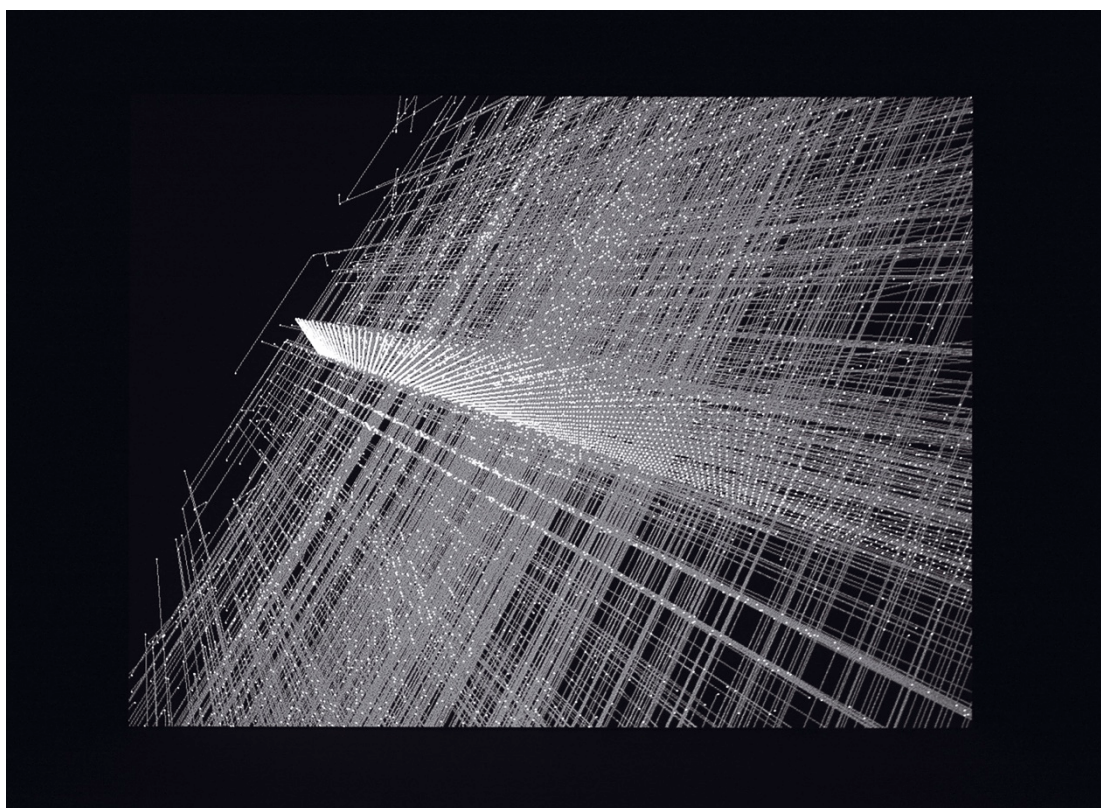
視覚と聴覚の限界に挑む、鮮烈な音と光の空間へ——

Ryoji Ikeda concert pieces

上演日時 2018年7月27日（金）—29日（日）

各日 20:30 よりオールナイト上演

会 場 スパイラルホール（スパイラル 3F）



datamatics [prototype-ver.2.0], 2006- © Ryoji Ikeda

photo by Ryuichi Maruo courtesy of Yamaguchi Center for Arts and Media (YCAM)

視覚と聴覚の限界に挑む、鮮烈な音と光の空間へ——

音そのものが持つ本質的な特性とその視覚化を、数学的精度と数学的美学に徹底した焦点を当てて追求し、視覚メディアとサウンドメディアの領域を横断して活動する、電子音楽家／ビジュアル・アーティスト池田亮司。

スパイラルでは、2018年7月27日（金）-29日（日）の3日間にわたり〈Ryoji Ikeda concert pieces〉として、これまでに発表されたオーディオ・ビジュアル作品3作をオールナイト上演します。

人間の視覚と聴覚の限界を探求し、鑑賞者を鮮烈な光と音の世界へ没入させるオーディオ・ビジュアル・コンサートをぜひ会場でご体感ください。

この機会に、ご掲載の検討をよろしくお願い申し上げます。

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 金子 朱

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral.

開催概要

Ryoji Ikeda concert pieces

開催日時 2018 年 7 月 27 日（金）— 29 日（日） 各日 20:30 よりオールナイト上演

プログラム 7 月 27 日（金） formula [ver.2.3]
7 月 28 日（土） C⁴
7 月 29 日（日） datamatics [ver.2.0] *30 日午前 10:00 終了

上演開始時間 ①20:30 ②22:00 ③23:30 ④1:00 ⑤2:30 ⑥4:00 ⑦5:30 ⑧7:00 ⑨8:30
全 9 回／各日共通
*各回入れ替え制／開場は開演の 15 分前／上演時間 1 時間程度

会 場 スパイラルホール
東京都港区南青山 5-6-23（スパイラル 3F）
お問い合わせ先 Tel. 03-3498-1171（スパイラル代表／11:00-20:00）

料 金 前売 1,500 円／当日 1,800 円（税込／全席自由）
URL http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_2645.html

共催：Ryoji Ikeda Studio／株式会社ワコールアートセンター
企画：Ryoji Ikeda Studio
企画協力：スパイラル
制作：Ryoji Ikeda Studio
制作協力：スパイラル

チケット

- Peatix <https://peatix.com>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp>（P コード 558-638）
- イープラス <http://eplus.jp/sys/main.jsp>

【ご確認ください】

- ・未就学児はご入場いただけません。
- ・本作品は強い光を伴う映像と重低音・高周波を使用しております。
心臓の弱い方やペースメーカーをご使用の方などとはご遠慮下さい。
- ・18 歳未満のかたは 23:30—2:30 の上演回はご覧いただけません。
- ・23:30—2:30 の上演回にご来場のかたは、入場時に顔写真付き ID のご提示をお願いします。
- ・演出の都合上、開演時刻を過ぎると入場できない場合がございます。その際の払い戻しはいたしかねます。
- ・主催者の都合による公演中止の場合をのぞき、ご購入後のキャンセル、日時の変更はできません。

Profile

池田亮司 / Ryoji Ikeda

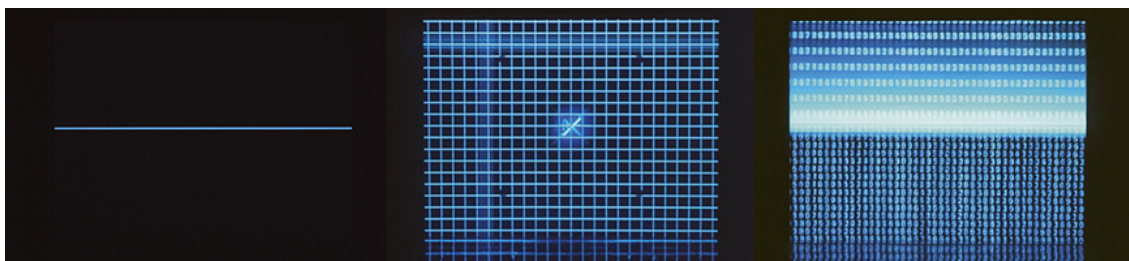
日本を代表する電子音楽家でビジュアル・アーティストでもある池田亮司は、音そのものが持つ本質的な特性とその視覚化を、数学的精度と数学的美学に徹底した焦点を当てて追求している。視覚メディアとサウンドメディアの領域を横断して活動する数少ないアーティストとして、その活動は世界中から注目されている。音響や映像、物質、そして物理現象、数学的概念の精緻な構成を用いて、鑑賞者を包みこむ様なライブとインスタレーションを展開する。音楽活動に加え、ライブパフォーマンスやインスタレーション、書籍、CDを通して「datamatics」シリーズ(2006-)、「test pattern」プロジェクト(2008-)、「spectra」シリーズ(2001-)、カーステン・ニコライとのコラボレーション・プロジェクト「cyclo.」、「superposition」(2012-)、「supersymmetry」(2014-)、「micro | macro」(2015-)などの長期プロジェクトに取り組んでいる。

<http://www.ryojiikeda.com>

上演作品詳細

formula [ver.2.3]

制作年：2000 - 2005



——知覚を増幅させる闇の世界

可聴周波数と映像による完璧なシンクロナイズ（同期）が展開され、2元構造の空間におかれた聴視者は、闇の中でその知覚を増幅させていく。音響、映像、光、多様なエレメントが完璧に統合され、高精度のスコアによって統制された圧巻の世界が繰り広げられる。

directed by Ryoji Ikeda
concept, composition: Ryoji Ikeda

formula [ver. 1.0-2.2]
computer graphics and editing: Shohei Matsukawa
produced by Ryoji Ikeda

photo credits: formula [prototype - ver.2.3], audiovisual concert, 2000-05
© Ryoji Ikeda
photo by Eiji Kikuchi

C⁴I

制作年：2004 - 2006



——映像とサウンドが織りなす新しい世界の風景

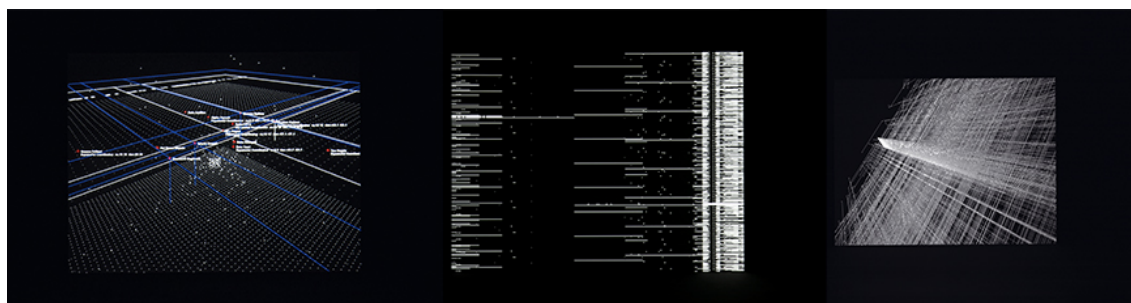
美しい自然の風景を収めた映像がゆっくりと言語データへと抽象化され、徐々に情報、数字、図形によるグラフィックへと姿を変える。目も眩むほどの強烈な映像と音響の織りなす新しい世界の風景は、リアルとバーチャルの収束を私たちに提示する。

directed by Ryoji Ikeda
concept, video, music: Ryoji Ikeda
computer graphics, video editing: Shohei Matsukawa,
Daisuke Tsunoda
commissioned by Yamaguchi Center for Arts and Media
(YCAM), 2004

photocredits: C⁴I , audiovisual concert, 2004-06
© Ryoji Ikeda
Photo by Kazuo Fukunaga
Courtesy of YCAM (Yamaguchi Center for Arts and Media)

datamatics [ver.2.0]

制作年：2006 -



——知覚の入口へ

世界に揺籃する膨大な量の不可視のデータを美的、形式的に知覚化することを探求したプロジェクト〈datamatics〉。数学的なアプローチによって知覚化されたデータは、鮮烈かつミニマルな映像として荘厳なまでの世界を展開していく。

directed by Ryoji Ikeda
concept, composition: Ryoji Ikeda

[ver.2.0]
computer graphics, programming: Shohei Matsukawa,
Norimichi Hirakawa, Tomonaga Tokuyama
co-commissioned by AV Festival 06, ZeroOne San Jose &
ISEA 2006, 2006
co-produced by Les Spectacles vivants, Centre Pompidou,
Yamaguchi Center for Arts and Media (YCAM), 2008
supported by Recombinant Media Labs

photocredits:
datamatics [prototype-ver.2.0], 2006-
© Ryoji Ikeda
photo by Ryuichi Maruo
courtesy of Yamaguchi Center for Arts and Media (YCAM)